

令和2年度 研究を振り返って まとめ

～今年度の取組の振り返りと三カ年計画研修の反省、次年度に向けて～

1. 研究主題「一人一人が考え、伝え合い、認め合う道德の授業づくり」 ～書く・話す活動の工夫を通して、児童の変容を目指す～ 〈●成果 ▲課題〉

低●書くこと、話すこと両方において、授業の中で形になりよかった。

低●書くことに関しては、意欲が増した様子。

低▲話すことの伝え合うことに関して、考えが思いつかない子のサポートが難しい。

中高●共通理解のもと、研究を進められた。

中高●変容について：「前は～だった」「あのとき～だった」「1学期に比べてたくさん書けた」などと、ファイルのワークシートを見返すことで、一人一人向き合うことができていた。

中高●児童の変容については、毎時間は期待できない。だが、“今までは□□だったが、◇◇に変わった”と展開後半に書く児童も出てきた。1単位時間内で新たな気づきをした児童もいた教材もあった。多くは年間を通してか。

中高▲当然1年と6年では内容項目の内容も違うためか、発達段階ごとの研修が見えにくく、難しさを感じた。（中学校では、3年通した研修が可能だと思われるが）

特●日々の積み重ねによって、情緒の子たちはワークシートを使って学習することができるようになった。

特▲特別支援ブロックの研究主題があってもいい。（合わせられない部分もあるため）

特▲友達同士で話し合うのはむずかしい（話す）

- ・概ね研究主題の下、学校全体で研究でき、よかった。
- ・伝え合うことが苦手な児童に対しては、絵カード等で選ぶ方法も有効ではないか。
- ・特別支援ブロック用の副題があってもよかったのではないか。
- ・伝え合うためには話を聞かないとできず、その上で“自分に近い”“ちょっと違う”等認め合えた。
- ・研究部として、どのような手立てで変容をみとるかを、提案できなかった。

2. 研究仮説に関わって 〈●成果 ▲課題〉

【研究仮説】書く・話す活動を工夫し、日常的な授業改善をすることによって、一人一人が考え、伝え合うことができ、お互いを認め合える児童が育つだろう。

低●担任が発問を工夫する（導入の発問を身近な事柄に関するものにするなど）ことで、子どもたちも考えやすくなっていたと思う。

低●子どもたちがお互いの意見に共感し合う様子も見られた。

中高●パターン化はよかった。

中高●アンケート→導入→めあて・・・と見通しが持てた

中高▲グループ交流がほとんどできなかったため、深めることが難しかった。

中高▲ペア交流は、いつも同じペアのため、実態によるが深まりがみられなかった。半面、メリットも感じられた。

特●子どもたちは書いたり話したりすることができた。

特●児童の発言に対して「みんなはどう？」と返し、「いいと思う」などの共通理解を図ることができた。

特▲「お互いを認め合える」の部分まではいけず・・・。その手前まではできる子が増えた。

- ・授業改善→児童も指導者側にもメリット
- ・他教科（特に国、社、算）においても日常的に「書く→交流する」をしている。お互いが「伝える、受け入れられる」を共有しているため、お互いを認め合っているのではないか。

3. 3年間で取り組んできた研究内容に関して〈●成果 ▲課題〉

「書く活動」ワークシート活用、「話す活動」別資料：トークトレーニング、基本的な指導過程、評価の視点や方法、別葉の日常的活用

低●トークトレーニングを通して、話すのが好きになった様子も見られた。

低●ワークシートの活用に関して、子どもたちが何を書けばよいか明確に分かるのでよかった。道徳の授業ではこういうことを書くのだと、子どもたちがパターンを知ることにも繋がりがよかった。

低▲別葉に関して、活用するところまで至らず課題。

中高●ワークシートは、同様の型を使用することで、書くことに慣れている。

中高●朝の会で「トークトレーニング」実施中。

中高●基本的な指導過程は、身についてきた。

特●児童に合わせたワークシートの作成

特●国語や自立の時間を活用した話す活動

特●授業の流れが身についている。

特●道徳に限らず、児童一人一人の適応課題が必要

・「書く」「話す」活動は、3年間実践を積み重ねてくることができた。

・別葉は、設置後の活用は提案できなかった。来年度は、実施した教材に○印をつけていけるとよいのでは。

4. 今年度の研究内容を実践するための土台に関して〈●成果 ▲課題〉

清水スタンダードの徹底、学び合う授業づくりができる学級経営、苦小牧っ子学力UP！ハンドブックの活用した授業改善、校内掲示づくり（家庭学習ノートコーナー、階段掲示等）

低●家庭学習コーナーに関して、子どもたちも結構見ている。（やはり1階の方が見やすい…？）

低●廊下掲示に関して、とてもよい。（はがれないようにできれば…。）

中高●清水スタンダードは、意識して様々な教科でも行っている。

中高●子どもたちに利点があると思われる。

中高●校内掲示は、階段掲示がとてもよかった。

中高●家庭学習ノートコーナーは、励みになっていた。

特●▲「清水スタンダード」…合わせられないものもあったが、できるものは取り組んでいた。（えんぴつ等を机の上に置いておくと、落としたり触ったりする。取り組みが合う人、合わない人がいる。

特●家庭学習コーナーや階段掲示等は、子どもたちがみんな見ている。

- ・清水スタンダードに関しては、様々な教科において意識して行ってきた。
- ・家庭学習ノートの掲示場所については、今年度同様の場所をお願いしたい。
- ・階段等の掲示については、先生方でアイデアを出し合い、今後も貼りっぱなしではなく、單元ごとに貼り換えていくことが望ましい。

5. 研究組織、道徳科指導案形式、授業観察シート、児童用オリエンテーションについて

低●現状でよい。

中高●観察シートを有効利用できた。

中高●児童用オリエンテーションを行うことで、どんな学習になるのかが理解できたと思われる。

特●「道徳科指導案形式」…良い。知的学級もこの形式と一緒に

特●「児童用オリエンテーション」…とても良い

今年度の取組で継続できるとよい。

6. 児童アンケート、ワークシート、道徳ファイルについて

低●現状でよい。

中高●アンケートを行うことで、児童の道徳的な価値の捉え方を把握できた。

中高●手間はかかるが、今後も継続することで積み重ねていくとよい。

中高▲よいわるいだけでよいのか。扱い方を確認してほしい。

特●「児童用アンケート」…来年度も継続するのであれば、低学年用のものを使用したい。

特▲「道徳ファイル」…低・中・高2年ごとにファイルを持ち帰る、学期ごとに持ち帰りにしてはどうか。

- ・児童アンケート：年度末のみ実施し、来年度のめあてを書くこととする。
- ・ワークシート：①年間で変容が見とれるもの3枚だけを選び（自己評価）、卒業するまでファイルに保管し続けることとする。←3枚選定は3月中に行う
 - ②その他のワークシートは、ホチキスで留める等して家庭に持ち帰らせる。
 - ③基本、参観日等で随時保護者には見てもらうようにする。
 ※次年度にファイルを新調する場合は、古ファイルのまま返却でよいが、保管しておくワークシート3枚の回収を忘れずに。
- ・道徳ファイル：①年度末に回収し、次年度に引き継ぐ。
 - ②新1年生は、紙からPPファイルへ移行していく←6年間使用できる
 - ③現2年生以上は、基本2年ごとに紙ファイルを新調←PPに移行するより安価
 - （現2年生：3年進級時と5年進級時に購入 1冊35円×2冊＝70円）
 - （現3年生：4年進級時に購入し6年生までの3年間使用 35円）
 - （現4年生：5年進級時に購入 35円）
 - （現5年生：購入せずあと1年間使用）
 - ④転入生については、学校で注文（PP）または家庭で用意（PPまたは紙ファイル）

7. 研究通信について、その他

低●いろいろな人の意見が分かりよかった。

低●研究部の先生たち、お疲れ様です。

中高●研究部の先生たち、お疲れ様です。

特：特になし

今年度は研究会開催に向け、ブロック研や全体研を多く行ってきたが、内容を共有するため、適宜発行できたのはよかった。

8. 次年度に向けて（何について研究していくか、理由） ・：低 ○：中高

- ・道徳以外の教科（国語または算数？）
- ・国語だと、道徳で取り組んできた、書く・話す活動が生かせる。ただ、国語は「まとめ」がない日もあり、授業研をする際、考えづらいこともありうる。
- ・外国語だと、低学年はどのようにすればよいか。

○外国語：・単年度で、全校で指導方法を研究したい。（迷いがあるため）

- ・口田先生にも協力を仰ぎ、現指導案の見直しを図る

→5,6年は教科、3,4年は外国語活動だが、1,2年は研究が難しい。全体での研究法としては、1～6年までをグループ分けし、1,2年担が6年授業にT1またはT2として教える。

○体育：専科の先生による指導をお願いしたい。←来年度の希望はしめきり。今後希望だすのはありだが…

○総合：そろそろ、指導計画の見直しや整理も必要であるから。

○書く：算数で穴埋めの問題を練習すると、自然と国語も上がるメリットがあるから

○国、算：全学年で取り組めるから

○読書

○新学習指導要領～主体的・対話的で深い学びが実践・研究できるよう教科を特定しない。

特：プログラミング教育…分からないので

特：道徳…継続して研究

特：国語・算数

特：学力テストの結果より落ちている部分を研究する

【国語 読書 書く 算数 体育 道徳 外国語 総合 プログラミング 新学習指導要領 学テ研究】

来年度は

国語←理由：・3カ年で研究してきた「書く」「話す」活動が生かせるから。

- ・主体的な学び、対話的な学び、深い学びが実践・研究できるから。
- ・全学年で取り組めるから。

◎6年生学テ結果

※1年目だけは、並行して「外国語」について、指導者の学習を進めていくことも可能か。

学校長より

◎3年間継続してきた研究を踏まえ、参観日の1回は道徳を公開し、成果を生かしていくこととしたい。

◎新学習指導要領「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進は全教科においてであり、国語は言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して理解し表現する資質・能力を育成していく。プログラミング教育はなく、プログラミング的思考を育てることが必要。次年度は考えていくことが多数。